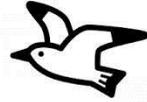


学校だより



令和2年2月 3日
尼崎市立園田小学校
校長 柳 一光

2月に入ると、6年生の登校日は卒業式を含めても残り32日、他の学年は35日になります。また、学校行事も新1年生向けの入学説明会や児童会役員選挙等、来年度に向けての活動が始まってきます。あわただしい雰囲気にはなりますが、私たち教職員にとっても園っ子にとっても、大切なのは今、足元の学校生活を一日一日充実させることです。学年のゴールに向かって、気を引き締めて取り組んでいきます。



勇気を出して



6年生と一緒に劇団四季のミュージカルを鑑賞しました。尼崎市では毎年市内の6年生が劇団四季のミュージカルに招待されます。今年は『カモメに飛ぶことを教えた猫』。母カモメに卵を託された猫が、様々な困難を乗り越えて立派なカモメに育て上げるストーリーです。その中でテーマソングがあります。学校で6年生の男子児童と歌詞の中でどの部分が印象に残ったか話し合ってみました。「自分を信じて」が一番印象に残ったのは一致しました。自分自身を信じるだけで生きる道が見えてくるとも、自分を信じるのは自分にしかできないとも言われます。これからも「自分を信じて」がんばっていきましょう。

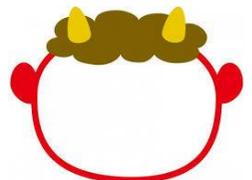
その次に印象に残った言葉は男子児童とは違っていました。私は「勇気を出して踏み出そう」、児童は「勇気の翼で飛び立とう」でした。大人である私は少し臆病になってしまっているのか、まずは踏み出すことが大切と考えてしまいましたが、未来が大きく広がっている児童にとっては、踏み出すことは当然で、広がる未来へ大きく飛び立つイメージこそが共感できたのかなと感じました。まさにその通りです。園っ子のみんなには、勇気を出して踏み出すだけでなく、勇気の翼で大きく大きく飛び立ってほしいものです。

鬼がいたら…

2月といえば節分。給食でも2月の行事食として「いわし」と「いり豆」が提供されます。鬼といえば、「こわい」「悪」というのが一般的だと思います。ところが、すぎのこ学級の児童がなかよし作品展のために制作したのは、『こんな鬼がいるといいな』でした。環境にやさしい鬼とか、交流が好きになる鬼とか、一人一人が考えて制作したそうです。自分達の存在を肯定的に捉えてもらえた鬼も喜んでいることでしょう。

固定観念で考えるのではなく、発想の転換も大切だと感じました。

そういえば、本来は、鬼と神は同一のものだったという話を聞いたことがあります。



給食室には、見本食で給食を展示しています。

それを見て当番さんは笑顔で「よっしゃー。やったー。」と小声を出しています。ガッツポーズをとる子もいます。うれしい一場面です。

しかし、多くの残食がある献立もあります。

お家で何でも一口は食べてみるという体験で、食の幅を広げることが応援してあげてください。

よろしくお願いいたします。(栄養教諭：岡山悦子)



2月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
3	月	委員会活動	18	火	児童会役員選挙
4	火	学校朝会	19	水	なかよし遠足(すぎのこ)
10	月	音読朝会 入学説明会(15:00~)	20	木	参観・懇談(こぼと・高学年)
11	火	建国記念の日	21	金	参観・懇談(すぎのこ・低学年)
12	水	全校生5校時まで	23	日	天皇誕生日
17	月	クラブ活動(最終) 音読交流会(5校時) 教育相談週間(~2/21)	24	月	振替休日
			27	木	クリーンタイム 6年お別れ遠足(雨天決行)

※毎週月曜日は、定時退勤日となっております。ご理解ご協力をお願い致します。

《3月の予定》

2日(月)6年生を送る会・委員会(最終)

17日(火)校外児童会・集団下校、給食終了

19日(木)卒業証書授与式

25日(水)修了式



ある高学年の学級に入った時に「どうすれば、成績が上がるのですか?」と質問されました。その子にはこう答えました。「小さなことを毎日積み重ねることです。」と。

この継続して積み重ねていくことの大切さは皆がわかっているのです。大きなことはできなかったときに「ああ、私はだめだな～」と、落ち込んでしまいます。このことが一番良くないのです。小さなことなら必ず毎日積み重ねることができます。

それが力をつける唯一の方法なのです。本校も朝・昼・帰りの三つの帯タイムで小さな積み重ねを継続しています。すぐには成果が表れませんが、ある時気がつけばグン!と力がついているはずですよ。

(研究主任：佐藤隆史)